

2020 年度業績発表/2021 年度業績予想

2021 年 3 月 5 日

エボニック、コロナ禍を乗り越り成長軌道へ復帰

- ・ 2020 年度業績予想を達成: 調整後 EBITDA は 19 億ユーロ、売上高は 120 億ユーロ以上
- ・ フリーキャッシュフローが前年から大幅増
- ・ 2021 年度業績予想: 調整後 EBITDA は 20 億から 23 億ユーロの間へ増加の見込み

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は、2020 年 5 月に設定した業績予想を達成しました。世界中で製造と物流は安定しており、社員を守るあらゆる対策も一貫して実施しています。2021 年に向け、再び成長軌道に復帰しました。

取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「私たちは、パンデミックの耐久試験に合格することができました。つまりこの危機を見事に克服し、目標を達成することができたのです」と述べています。

2020 年の春、エボニックは通期の業績予想を示した数少ない企業の 1 つでした。調整後 EBITDA は、19.1 億ユーロ、売上高は 122 億ユーロとなり、目標を十分に達成することができました。調整後 EBITDA は前年比 11%減となりましたが、3 つの成長部門であるスペシャルティケミカル、ニュートリション&ケア、スマートマテリアルズの収益はわずか 3%減にとどまりました。この 3 部門による売上は、営業利益の約 95%を占めます。2019 年度調整後 EBITDA は 21.5 億ユーロ、売上高は 131 億ユーロでした。

「今回の危機的状況において、スペシャルティケミカルへよりビジネスを集中させるという戦略が功を奏しました。エボニックは、この転換プロセスの過程にあり、今後もさらにこの戦略を推進し、2021 年以降の新たな成長につなげていきます」とクルマン(Kullmann)はコメントしています。

成長プロジェクトには、mRNA ベースの新型コロナウイルスワクチンの製造に不可欠な特殊脂質の生産拡大が含まれています。エボニックは、アメリカとカナダに加え、ドイツのハナウトとドッセンハイムの生産拠点をさらに拡張し、早ければ 2021 年後半に脂質の製造を開始する予定です。また 3D プリンティングなどの成長市場で使用されるポリアミド 12 の新しい複合製造施設も計画通り今年中に完成する予定です。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

現在、エボニックの売上の約 35%は、競合製品と比べ、より優れたサステナビリティをお客様に提供する製品からもたらされています。今後の技術分野では、このいわゆる「次世代ソリューション」が非常に必要とされています。エボニックは引き続き、サステナビリティで差別化を図ることのできる製品による売上比率を高めていきます。

2021 年は、調整後 EBITDA は 20 億から 23 億ユーロの間、売上高は 120 億から 140 億ユーロ、そして、キャッシュフロー比率は約 40%を予想しています。第 1 四半期には、調整後 EBITDA が 5.5 億ユーロを超えると予想しています。

昨年、エボニックのフリーキャッシュフローは 7.8 億ユーロ、キャッシュフロー比率は 40%以上に増加しました。CFO ウテ・ヴォルフ(Ute Wolf)は「昨年度はフリーキャッシュフローの見通しを 2 度上方修正しましたが、さらにそれを上回る結果となりました。2021 年には増収、持続的に高いキャッシュフロー比率、それに伴うフリーキャッシュフローの増加を見込んでいます」と述べています。

2020 年度純利益は、4.65 億ユーロに減少しました。2019 年度は、21 億ユーロでしたが、これにはメタクリレート事業の売却益が含まれていました。

エボニックは、継続した株主配当を確信しており、2021 年 6 月 2 日の年次株主総会で、取締役会および監査役会は 1 株当たり 1.15 ユーロの配当を提案する予定です。2020 年度末の株価終値に基づき、配当利回りは 4.3%となります。

事業部門ごとの業績

スペシャルティアダプティブス: 売上高は、前年から 5%減の 32.3 億ユーロでした。自動車およびコーティング業界向けの添加剤の需要は当初は厳しい経済状況下で大幅に減少しましたが、年度末には明らかに回復基調となりました。一方、建設業界や再生可能エネルギー分野向けの添加剤需要は、年間を通じ堅調に推移しました。耐久消費財の需要は年初に減少したものの、その後回復傾向が見られました。マットレスや冷蔵庫などに使用されるポリウレタンフォーム用添加剤はこの恩恵を受けることができました。同事業部門の調整後 EBITDA は、前年から 3%減の 8.57 億ユーロです。

ニュートリション&ケア: 売上高は、前年から2%増の29.9億ユーロでした。飼料添加剤の必須アミノ酸が前年を上回る売上高を記録しました。メチオニン事業では、世界的な需要拡大に伴い、販売量が増加しました。通年で見ると、2020年度後半の販売価格は安定していました。また、ヘルスケアおよびパーソナルケア業界からの需要も好調でした。特に化粧品向けのアクティブ原料や医薬用ポリマーの需要が好調に推移しました。同事業部門の調整後 EBITDA は、前年から21%増の5.6億ユーロとなりましたが、これは主に販売価格の改善とコスト管理の成功によるものです。

スマートマテリアルズ: 売上高は、前年から4%減の32.4億ユーロでした。特に第2四半期および第3四半期の業績は、世界的な景気減速の影響を受けましたが、第4四半期には前年同期の水準まで回復することができました。しかし全体的には、景気後退の影響により販売数量が大幅に減少しました。ポリマー分野では、特に自動車業界向けの高機能プラスチック、またタイヤ産業で使用されるシリカで同様の傾向が見られました。さらに衛生用品、ケア用品、および環境関連用品の需要は堅調でした。昨年買収手続きが完了したペルオキシ・ケム社(PeroxyChem)からの強力な収益による貢献が、プラスをもたらしました。同事業部門の調整後 EBITDA は、前年から19%減の5.29億ユーロでした。

パフォーマンスマテリアルズ: 売上高は、前年から25%減の19.8億ユーロでした。C4-統合生産品の売上高は、特に自動車業界と燃料業界の需要の落ち込みを受け、減少となりました。高吸水性樹脂事業では、設備稼働率が改善しているものの依然として平均を下回っていることから、調整後 EBITDA は、前年から65%減の8,800万ユーロとなりました。

エボニック・グループ：損益計算書(抜粋)

(単位:100万ユーロ)	第4四半期			通期		
	2019	2020	増減(%)	2019	2020	増減(%)
売上高	3,284	3,212	-2	13,108	12,199	-7
調整後 EBITDA	505	418	-17	2,153	1,906	-11
調整後 EBIT	253	146	-42	1,201	890	-26
調整	-1	-7		-115	-71	
純金融費用	-19	-36		-132	-135	
税引前利益(継続事業)	233	103	-56	954	684	-28
法人税等	-26	-20		-180	-181	
税引後利益(継続事業)	207	83	-60	774	503	-35
税引後利益(非継続事業)	-43	-7		1,353	-24	
税引後利益	164	76	-54	2,127	479	-77
非支配持分	4	3		21	14	
当期純利益	160	73	-54	2,106	465	-78
調整後当期純利益	231	114	-51	902	640	-29

各事業部門の業績(第4四半期)

(単位:100万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2019	2020	増減(%)	2019	2020	増減(%)
スペシャルティアディティブス	810	848	5	203	201	-1
ニュートリション&ケア	747	787	5	109	133	22
スマートマテリアルズ	836	866	4	168	124	-26
パフォーマンスマテリアルズ	652	517	-21	53	30	-43
サービス	221	188	-15	24	-15	-163
その他事業	18	6	-67	-52	-55	6
グループ全体	3,284	3,212	-2	505	418	-17

各事業部門の業績(通期)

(単位:100万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2019	2020	増減(%)	2019	2020	増減(%)
スペシャルティアディティブス	3,381	3,225	-5	886	857	-3
ニュートリション&ケア	2,922	2,992	2	462	560	21
スマートマテリアルズ	3,371	3,235	-4	651	529	-19
パフォーマンスマテリアルズ	2,634	1,983	-25	248	88	-65
サービス	763	734	-4	122	92	-25
その他事業	37	30	-19	-216	-220	2
グループ全体	13,108	12,199	-7	2,153	1,906	-11

エボニック・グループの事業部門別従業員数

	2019年 12月31日	2020年 12月31日
スペシャルティケミカル	3,651	3,666
ニュートリション&ケア	5,322	5,295
スマートマテリアルズ	7,065	7,874
パフォーマンスマテリアルズ	1,645	1,639
サービス	14,428	14,310
その他事業	312	322
グループ全体	32,423	33,106

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2020年度は、122億ユーロの売上、19.1億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、33,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2020年度は、28.7億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2021年3月4日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)